

令和5年度 小樽市立朝里中学校 学校経営方針

社会の要請

- ・日本国憲法、こども基本法、教育基本法等各種法令
- ・子どもの権利条約
- ・学習指導要領
- ・北海道教育推進計画
- ・小樽市教育推進計画
- 保護者・地域の願い

【学校の教育目標】

- 自律** 自分で考え、表現し、行動する人
- 承認** 自他のよさを認め、互いに学びあう人
- 創造** よりよい社会の創造に果敢に挑戦する人

朝里中生徒の願い

- ・誰一人取り残されない
- ・尊重される
- ・勉強が分かる、できる
- ・自分に自信がもて意欲が出る
- ・自分の考えを表明できる
- ・将来社会に出て困らない基本スキルが身に付く

【年度の重点目標】

「生徒が創る学び」の実現 ～ 幸せに生きるために ～
＜ウェルビーイングの深化を目指して＞

【目指す学校像】

朝里中学校は、生徒も保護者も教職員も幸せになれる学校を目指します！

1 自分の成長を実感できる学校

- ・誰一人取り残さず、確かな学びを保障
- ・小中一貫教育の充実

2 笑顔で活気にあふれる学校

- ・自己存在感の感受、共感的人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成

3 地域住民の負託に応え、未来に向かって挑戦する学校

- ・10年後の社会で活躍できる生徒の育成（教室は未来へ繋がっている）

【目指す生徒像】

朝里中学校の生徒は、自他ともに幸せになれるよう考え行動します！

1 自分で考え、表現し、行動する生徒

- ・感情をコントロールする
- ・自分の将来を見通して計画的に行動する
- ・ルールを踏まえ建設的に主張する

2 自他のよさを認め、互いに学びあう生徒

- ・多様性を認め合い、他者の立場で物事を考える
- ・目標を達成するために他者と協働する
- ・意見の対立や理解の相違を解決する

3 よりよい社会の創造に果敢に挑戦する生徒

- ・様々な場面で、言葉、技能を使いこなす
- ・自分で問いを立て、知識や情報を収集し有効に活用する

【目指す教職員像】

朝里中学校の教職員は、生徒が幸せになれるようサポートに努めます！

1 教育目標の実現のため、創造性を発揮しながら実践する教職員

- ・広く豊かな教養と、優れた専門性、指導力

2 生徒が自分らしく生きるために、成長を支える教職員

- ・子どもへの深い愛情と、教育に対する使命感、責任感、情熱
- ・「ガイドツアー型」の授業から「自主研修型」（PBL）の授業へ

3 「生徒を主語に」学校の未来を熱く語る教職員

- ・教職員や保護者、地域と協力し合い、よりよい学校づくりに意欲的

＜「生徒が創る学び」を支える基盤づくり＞

【自己存在感】…自分が一人の人間として大切にされていると感じる・自己肯定感が高まる

【共感的人間関係】…失敗を恐れない・できないことや間違いを笑わない・なぜそう思ったのかみんなで考える

【自己決定の場】…自分の意見を述べる（伝わる言葉で）・対話や議論をする・協力し合う・磨き合う

【安全・安心な風土】…「わからない」「できない」と言える学級づくり・「絆づくり」と「居場所づくり」

＜教職員としての心がけ＞

- ・前例踏襲ではなく、常に検証・改善・プラスワン思考で
- ・情報共有と組織対応
- ・環境の3S「整理」「整頓」「清掃」
- ・褒める3S「すごい（驚き）」「さすが（尊敬）」「すばらしい（優秀）」
- ・ケアの3D「どうしたの？（傾聴）」「どうしたいの？（自己決定を促す）」「先生は、どうすればいい？（支援）」
- ・コンプライアンス意識とマナーの向上

【教育課程経営】

- ①未来を創る力の育成
- ②豊かな心の育成
- ③健やかな体の育成
- ④家庭・地域との連携・協働の推進
- ⑤学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現
- ⑥生涯各期における学習機会の充実との関連
- ⑦文化芸術の振興と文化遺産の保存活用との関連
- ⑧生涯スポーツ・レクリエーションの振興との関連

【朝里地区の子どもをみんなで育むために】 義務教育9年間を通じた小中一貫教育の充実 地域と共にあるコミュニティ・スクールの取組